

# シンポジウム「宇宙にひろがる人類文明の未来 2015」

## ポスター出展者情報

2015.01.09 現在

・ポスター番号は会場案内図（会場で配布するものです）に書かれている番号と対応しています。出展者ふくめ交流を促すため、意図的にバラバラに配置されていますので予めご了承ください。

### 高校生，高校教員(1/6 現在)

番号 : 602

出展者名 : 京都市立堀川高等学校

タイトル : 「M 型星のフレアの光度振幅と発生頻度の関係 —M 型星と G 型星のフレアがハビタブルゾーンに与える影響—」

概要 : M 型主系列星のフレアにおける光度振幅と発生頻度の関係について、ケプラー一衛星のデータを用いてグラフ化し、G 型主系列星のものと比較した。さらに、M 型星と G 型星のフレアがハビタブルゾーンに与える影響について放射エネルギーから考察した。

メッセージ: 将来、宇宙工学にかかわりたいと思っているので今回の交流で夢に対する手掛かりを掴みたいです。

番号 : 603

出展者名 : 京都市立堀川高等学校

タイトル : 「異なるタイプの銀河の観測と比較 —M82 と M81 の測光観測から—」

概要 : M82 と M81 という、タイプの異なる 2 つの銀河がある。この 2 つの銀河について測光観測を行ってデータを入手し、星形成の観点から比較した。得た結果から、2 銀河間の星形成状態の違いの検証や、超巨大ブラックホールとの関連性の考察を行った。

メッセージ: 至らない点多々あると思いますが全力で頑張りたいと思います。

番号 : 601

出展者名 : 京都府立桃山高等学校 グローバルサイエンス部 『夜空の明るさ調査班』

タイトル : 「①『小さな星を探して～京都市内における夜空の明るさ調査～』

概要 : 同じ星空であっても、観測場所や天候等によって夜空の明るさが異なり、星の見え方は変化する。私たちは、月明かりや街明かりが夜空を明るく照らす影響について考え、時間的・空間的な変化を調査した。

メッセージ: 夜空の明るさによる星空の違いについて考えてみましょう。

タイトル : 「②『流星群と夜空の明るさ比較』

概要 : 昨年度、京都府と屋久島でペルセウス座流星群の同時観測を行った。流星の個数差から、夜空の明るさについて評価を行った。

メッセージ: 京都と屋久島の夜空の違いを、流星数で比較してみましょう。

番号 : 604

出展者名 : 京都府立洛東高等学校 自然科学部

タイトル : 「黒点の大きさと磁場の強さの関係」

概要 : 2014年8月、京都大学附属花山天文台にある70cmシーロスタットと高分散分光器で太陽表面に並んだ黒点のスペクトル画像データを取得した。その解析の結果、暗部の大きさと磁場の強さには比例関係があることが分かった。

メッセージ: 観測した日は黒点がたくさん、並んでいました。まだまだ、未熟ですがよろしくお願いします。

タイトル : 「激変星 EM Cyg の2色測光観測」

概要 : 2014年5月に二つの望遠鏡に波長域の異なるフィルタを付けて激変星の測光観測を行い、京都大学で光度曲線のモデル計算を行った。対象の激変星は2013年も観測しているので、その違いも合わせて報告する。

メッセージ: データ処理、解析、全て手作業で苦労しました。

番号 : 605

出展者名 : 東京学芸大学附属高等学校

タイトル : 「宮古市姉吉の大津波記念碑の教訓について」

概要 : 田老地区の石碑に記されている「此処より下に家を建てるな」の意味を、衛星データの利用により、東日本大震災における津波の状況をもとに分析する。

番号 : 606

タイトル : 「備中高松城の水攻めの状況について」

概要 : 秀吉による備中高松城の水攻めについて、衛星データを利用して考察する。

番号 : 607

出展者名 : 岩藤英司 (東京学芸大学附属高等学校 教諭)

タイトル : 「高等学校における宇宙人文学の取り組み」

概要 : 高校の SSH における衛星データの活用と文理融合の実践。

番号 : 608

出展者名 : 中野不二男 (京都大学宇宙総合学研究ユニット・JAXA/EOR・東京学芸大学附属高等学校)

タイトル : 「700km の軌道から古事記を探る」

概要 : 古事記はフィクションか。衛星データにより「国生み神話」の世界を考察する。

番号 : 609

出展者名 : 京都市立洛陽工業高校ハイパスステージ

タイトル : 「ハイブリッド・ロケットの製作と打ち上げ」

概要 : 京都市立洛陽工業高校では、『宇宙にいちばん近い高校』プロジェクトを展開しており、その中でハイブリッド・ロケットの製作と打ち上げを行っている。本発表では、昨年度に製作した“RH-2”と、今年度製作を進めている“RH-3”について、製作過程や打ち上げの様子などについて報告する。

メッセージ: ハイブリッド・ロケット奮闘記です。ぜひ見に来てください

番号 : 610

出展者名 : 有本淳一 (京都市立洛陽工業高校・教諭)

タイトル : プラネタリウムを町の誇りに

概要 : 本発表では、文化パーク城陽プラネタリウムにおける活性化プロジェクトの取り組みについて紹介する。特に昨年 10 月に実施したイベント『手に取る宇宙』と、11 月に実施した JOYO 産業まつりでの取り組みを中心に、プラネタリウムを中心にした地域づくりについても考察する。

メッセージ: 天文教育による地域づくりについて議論しましょう。

## 大学生，大学院生（12/24 現在）

番号 : 501

出展者名 : 野津湧太 竹村泰斗 市川幸平

タイトル : 「今後の月・惑星・小惑星探査は有人？無人？」

概要 : 今後の月・惑星・小惑星探査は、有人・無人どちらで行うのがよいのでしょうか？現在の宇宙開発の情勢も踏まえ、「なぜ無人がこれまで主に推進されてきたか？」や「有人探査へ転換していく必要があるか？」について考えます。

メッセージ：今後の宇宙探査は、有人か無人か？ 皆さんと一緒に考えたいと思います。

番号 : 301

出展者名 : 廣瀬公美

タイトル : 「キッズガイド&口頭解説ガイド@京大博物館特別展『明月記と最新宇宙像』」

概要 : 今秋、京都大学総合博物館において特別展「明月記と最新宇宙像」が開催された。この特別展の内容を子どもも含め来館者によりわかりやすく伝えられるよう子ども向けパンフレット（キッズガイド）を作成し、また会期中の土日に大学生による口頭解説ガイドを実施した。

メッセージ：〈明月記と最新宇宙像〉に行かれなかった方も是非お声掛け下さい

番号 : 401

出展者名 : 伊地知翔真

タイトル : 「バイナリーブラックホール～銀河成長の鍵を握る双子のブラックホール～」

概要 : 銀河の中心には巨大なブラックホールが存在すると言われているが、それは元々はブラックホール同士が合体・衝突して巨大に成長したと考えられる。本研究では、そのような衝突前のブラックホール達の姿をシミュレーションした。

メッセージ：ブラックホールが動くシミュレーションもご用意しています。

番号 : 302

出展者名 : 学生宇宙団体 Noti' s

タイトル : 「宇宙箱舟ワークショップ 2014」

概要 : 「宇宙に引っ越すなら、どんな動物を連れて行く？」箱舟に載せる生き物を選ぶ作業を通じて、様々な科学的、社会的な問題について考えるためのプログラムです。本プロジェクトではその改訂を行っています。

メッセージ：箱舟を使って、宇宙規模で様々な問題を考えてみましょう。

番号 : 404

出展者名 : **Kyoto Science Sequence**

タイトル : 「**Kyoto Science Sequence** 大学院生の研究を母校へ伝えよう」

概要 : Kyoto Science Sequence は大学院生が自身の研究を高校生に伝える活動を支援しています。研究をまとめたリーフレットの作成と、母校訪問での研究紹介を援助することで、大学院生と高校生の双方にメリットをもたらす活動を目指しています。

メッセージ: 研究を伝えたい方々、知りたい方々、お待ちしております！

番号 : 304

出展者名 : 早川尚志, 玉澤春史, 河村聡人, 福田耕祐

タイトル : 「古記録から迫る太陽の過去」

概要 : 太陽の科学的観測はガリレオ・ガリレイ以来 400 年続けられてきました。本企画では、それ以前の太陽の姿について歴史史料の記述からどれくらい復元できるかに迫ってみます。宇宙の未来を考えると、過去の事例は大きなヒントになるはずです。

メッセージ: 過去はかつて未来であり、現在でした

番号 : 305

出展者名 : 唐津拓弥, 川上翔司, 嶋康平, 堀之内果南, 渡辺 脩太

タイトル : 「SF 作品を通して考察する科学技術と社会」

概要 : SF 作品のうち、アニメ・マンガ作品に焦点を当てて作品研究を行い、それをもとに「科学技術の利用」、「テロリズムとの関連」、「情報社会」、「宇宙産業」等、各トピックに対して宇宙開発、ひいては科学技術の利用・発展に関する考察を行った。

メッセージ: 様々な SF 作品をベースに多角的な観点から議論できたとと思います

番号 : 306

出展者名 : 花山天文台 **Galleryweek2014**

タイトル : 「天文台でのアートイベント: 花山天文台 **Galleryweek**」

概要 : 80 年以上の歴史をもつ花山天文台を舞台に、宇宙をテーマにしたアート作品の展示やワークショップを行い、様々な人々が天文台へ足を運びました。作家、研究者だけでなく様々な立場から宇宙と人間を考えていきます。

メッセージ: アートを使って宇宙や人間を考える、その取り組みをご紹介します。

番号 : 307

出展者名 : 学生プロジェクト・「宇宙天気」班

タイトル : 「宇宙天気現象の社会インフラに対する影響」

概要 : 極端宇宙天気現象が社会インフラや経済活動に及ぼす影響は甚大であると想定されるが、実際の質的・量的な見積もりは不十分である。我々はすでに公表されている文献に基づいて、このインパクトを整理・理解する

メッセージ : 宇宙天気の社会インフラに対する影響を考えましょう。

番号 : 402

出展者名 : 高棹真介

タイトル : 「太陽で大きな爆発を起こす黒点はどのようにやってできるのか？」

概要 : 太陽は黒点の上でフレアという大きな爆発を起こします。しかし黒点はその形によって、大きな爆発を多く起こすものと、そうでないものに分かれます。激しく爆発を起こす黒点はどのようにできるのででしょうか？これに関する研究成果についてご紹介致します。

メッセージ : 激しく爆発を起こす黒点はどのようにできるかを理解したい

番号 : 403

出展者名 : 小畠拓也

タイトル : 「誘電体バリア放電プラズマアクチュエータに関する米国物理学会気体エレクトロニクス会議における発表、およびゼネラル・エレクトリック社グローバル・リサーチ・センターにおける研修およびディスカッションに関する成果報告」

概要 : 近年、航空宇宙分野で注目されている誘電体バリア放電プラズマアクチュエータに関する研究成果を、米国物理学会気体エレクトロニクス会議において発表した。さらに、ゼネラル・エレクトリック社グローバル・リサーチ・センターを訪問し、数値流体力学に関する研修、および上記研究テーマに関するディスカッションを行った。

メッセージ : 宇宙開発に不可欠なプラズマ物理学の世界の研究動向を報告する。

番号 : 404  
出展者名 : Nyein Chan  
タイトル : 「Assessment of aboveground biomass and soil carbon storage of the fallow forests after swidden cultivation in the Bago Mountains, Myanmar」  
概要 : ソルトレイクシティーで開催された第 24 回国際森林研究機関連合世界大会でベストポスター賞を受賞しました。十分に明らかにならなかった焼畑休閑林バイオマスと休閑年数の関係を解明した点が評価されました。  
メッセージ: 宇宙からみた衛星画像と現地調査を組み合わせた熱帯林研究です。

番号 : 405  
出展者名 : 早川尚志  
タイトル : 「衛星画像から見る聖書の地」  
概要 : 聖書の舞台になった現在のヨルダン・イスラエルは古代エジプト期から現代に至るまで東西文明を結ぶ「道」の交差点でした。今回はそうした「道」に注目し、当該地域での踏査報告を行います。  
メッセージ: 物事を考える時、ミクロとマクロと両方の眼が必要です。

番号 : 502  
出展者名 : 石田新司, 高橋卓也 他  
タイトル : 「Mars-one 計画に見る人類の火星移住に伴う倫理問題」  
概要 : 人類の地球外への移住と開拓についてはすでに火星への地球外移住を構想したマーズワン計画がありその倫理問題について検討した。マーズワン計画のFAQを参考に現状考えられる倫理問題についてどう対応しようとしているか吟味し今後浮上してくるであろう問題点についても課題を挙げた。  
メッセージ: 人類移住は夢物語ではありません。この機会に考えてみませんか？

番号 : 503  
出展者名 : 河村聡人, 小島拓也, 降旗大岳  
タイトル : 「国際宇宙ステーションリフォームプランの提案」  
概要 : 近い将来の運用終了が予定されている国際宇宙ステーション (ISS) について、中野不二男氏によるリフォームプランを参考に、その後の運用形態を検討した。ISSを宿泊施設、港として利用し、各国が独自のステーションを持つという形態を提案する。さらに、ISSを利用した研究開発、サービス業などのその後の展開も予測する。  
メッセージ: 人類宇宙基地「国際宇宙ステーション」、新たな一歩への手助けを

## 大学教員・研究室・研究員（1/6 現在）

番号 : 101

出展者名 : 京都大学附属天文台 理論グループ (柴田一成, 玉澤春史, 河村聡人, 高橋卓也, 野津雄太 他)

タイトル : 「太陽・宇宙の爆発現象を紐解く」

概要 : 太陽の爆発現象は宇宙の様々な現象を引き起こす天体プラズマの巨大な実験の場でもあると共に、私達の生活にも影響を与える天体现象であります。太陽をよりよく理解し、私達の日常を守る宇宙天気予報・宇宙防災学の基礎を築いています。

メッセージ: 太陽の爆発の解明から宇宙天気・宇宙防災学の確立を目指したい。

番号 : 102

出展者名 : 京都大学宇宙線研究室 MeV グループ (園田真也, 水村好貴, 谷森達 他)

タイトル : 「宇宙ガンマ線望遠鏡の社会応用 電子飛跡検出型コンプトンカメラの医療応用」

概要 : 既存の核医学イメージング装置では測定可能なガンマ線のエネルギーの範囲が限られているため使用できる薬剤に制限があるが、コンプトンカメラは測定可能な範囲が広いので新しい薬剤開発の促進が期待できる。医療用ガンマ線カメラを開発し医療機能イメージングの可能性を広げ、医療に貢献することを目指している。

メッセージ: 宇宙ガンマ線カメラの医療応用の研究を行っています

番号 : 103

出展者名 : 京都大学宇宙線研究室 MeV グループ (水村好貴, 水本哲也, 友野大, 谷森達 他)

タイトル : 「宇宙ガンマ線望遠鏡技術の社会応用—環境中のセシウム分布を可視化する環境用ガンマカメラ」

概要 : 福島第一原発の事故以来、環境中のセシウムから放出されるガンマ線の測定はとても重要な課題です。我々は、宇宙ガンマ線の観測技術を応用して、環境ガンマ線測定装置の開発を産官学で連携して進めています。展示では、小型試作装置と、福島県で行った測定について紹介します。

メッセージ: 宇宙ガンマ線測定技術で社会貢献を行います。



**番号** : 104

**出展者名** : 京都大学宇宙線研究室 MeV グループ (宮本奨平, 水村好貴, 谷森達 他)

**タイトル** : 「ガンマ線で見える激動の宇宙」

**概要** : 私たちが普段、目で見える宇宙は星が輝ききれいなものですが、ガンマ線で見える宇宙はどのようなものでしょうか? ひとたびガンマ線で見るとブラックホール近傍のジェット現象や星の爆発現象といった激動の宇宙が見えてきます。今回の公演では、このような宇宙現象を紹介し、我々が開発している検出器についても紹介します。

**メッセージ**: 超新星爆発などの高エネルギー物理現象に興味がある人大歓迎です

**番号** : 201

**出展者名** : 長島天文台調査プロジェクト (山下俊介 他)

**タイトル** : 「国立ハンセン病療養所長島愛生園の観測活動をひもとく」

**概要** : 京都大学初代天文台長の山本一清が設置に深くかかわった長島天文台 (国立ハンセン病療養所長島愛生園)の観測活動について、調査プロジェクトを通じて新たに明らかになったことを紹介します。

**コメント** : 天文学史の中で、ほとんど知られていない観測活動を紹介します。

**番号** : 202

**出展者名** : 京都大学研究資源アーカイブ (KURRA) (山下俊介 他)

**タイトル** : 「京都大学研究資源アーカイブの中の『宇宙』」

**概要** : 京都大学研究資源アーカイブでは、さまざまな研究資料を保存、活用する事業を進めています。研究資源アーカイブで公開しているデジタルコレクション「海老沢火星図, 1957-1959」と「宮本正太郎資料: 火星スケッチ, 1955-1976。」を紹介します。

**メッセージ**: チラシにも用いられた火星図の高精細画像をぜひご覧ください。

**番号** : 204

**出展者名** : 磯部洋明

**タイトル** : 「宇宙の総合的研究—宇宙物理学から宇宙人類学まで」

**概要** : 20世紀は物理学、21世紀は生命科学の世紀などと言われています。ならばその先には人間研究たる人文・社会系の研究が再びアツくなるはずです。宇宙を舞台にした人間研究の試みを紹介します。

**メッセージ**: 宇宙ユニット発の学際的な「宇宙学」を知って頂きたいと思います。

**番号** : 203

**出展者名** : 京都大学附属天文台 観測グループ (一本潔、浅井歩 他)

**タイトル** : 「太陽活動の謎を暴く、新しい『目』」

**概要** : 京都大学理学研究科附属天文台では、望遠鏡を用いた観測を通して太陽活動など宇宙天気現象の謎に迫っています。また、新たな観測装置の開発を行っています。

**メッセージ** : 太陽プラズマを「測る」新しい目で、太陽活動の謎に挑みましょう

**番号** : 105

**出展者名** : 理学研究科宇宙物理学教室・附属天文台

**タイトル** : 「岡山 3.8m 新技術望遠鏡計画」

**概要** : TBD

**メッセージ** : TBD

**番号** : 106

**出展者名** : 大島誠人

**タイトル** : 「変光星でみる宇宙の広がり」

**概要** : 激変星をはじめとした変光星は、宇宙の姿を明らかにするための大きな手掛かりを与えてくれる天体である。天体そのものが特殊な天体であることもあれば、天体で引き起こされる変動現象を観測することによって間接的に物理現象について推察する手がかりとなることもある。当ポスターでは変光星を観測することがどのように天文学の進歩における重要性を持つか、について激変星を中心に紹介する。

**メッセージ** : 変光星といっても馴染み薄いかもしれませんが、ぜひ一見いただければ幸いです。

**番号** : 205

**出展者名** : 宇宙総合学研究ユニット ブロードタワー共同研究部門 (宇宙総合学研究部門)

**タイトル** : ビッグデータ解析手法を用いた宇宙天気予報アルゴリズムの開発

**概要** : 機械学習や並列分散処理といった、情報処理分野で「ビッグデータ解析」と言われる手法を用いて、膨大な量の観測データを分析し、太陽フレアの発生を予報する手法を開発しています。

**メッセージ** : IT 企業との共同研究による、情報技術の宇宙科学への応用です。

## 企業、各種団体・個人（1/9 現在）

番号 : 702

出展者名 : SatMViewer Project

タイトル : 「衛星画像閲覧アプリ『SatMViewer』について」

概要 : SatMViewer は京都大学・宇宙システム開発利用推進機構・日本リモートセンシング学会の共同研究で開発した衛星画像閲覧アプリです。iOS/Android 端末で KML 形式の画像を地図に重ねて表示、透かして比較することが出来ます。

メッセージ: アプリは無償公開しています。当日は会場にデモ機を設置します。

番号 : 701

出展者名 : アダチ・デザイン研究室

タイトル : 「膨張する宇宙デザイン」

概要 : 一番多く質問される「どういうきっかけで宇宙な仕事を始めたのか」宇宙ユニットシンポのポスターをはじめ、これまで担当したデザインが生まれるまでの思いや研究者の方々との当時のコメントを交えながら紹介します。

メッセージ: 科学をわかり易く正しく伝えるためのメモ書き「宇宙ノート」も展示します。

番号 : 703

出展者名 : 三菱重工業株式会社 防衛・宇宙ドメイン 宇宙事業部 宇宙利用推進室

タイトル : 「将来宇宙に向けた活動紹介ー宇宙太陽発電システム/宇宙創薬プロジェクト」

概要 : 当社の将来宇宙に向けた活動として、宇宙太陽発電システム(SSPS: Space Solar Power System)の実現に向けた技術開発、及び宇宙（微小重力）環境での創薬研究について、そのコンセプトと活動状況を紹介します。

メッセージ: 私たちの活動から、少しでも宇宙利用に興味を持って頂くことを期待します。

番号 : 705

出展者名 : 宇宙航空研究開発機構（JAXA） 大学・研究機関連携室

タイトル : 「大学・研究機関と JAXA との連携」

概要 : JAXA 大学・研究機関連携室は、宇宙航空分野における研究機関との協力活動を促進するため、JAXA内のニーズの掘り起こし、優れた宇宙開発・宇宙航空研究につながる大学での活動サーチ、将来の宇宙航空分野を支える人材育成を使命としています。

メッセージ: JAXA 大学・研究機関連携室は、大学や研究機関と JAXA の橋渡し役を担う組織です。

番号 : 708  
出展者名 : 宇宙航空研究開発機構 地球観測研究センター ALOS/ALOS-2 利用研究プロジェクト  
タイトル : 「だいち&だいち2号と、その利用」  
概要 : 地表の精密な画像を取得する陸域観測技術衛星「だいち」およびその後継機「だいち2号」(2014年5月打上げ)と、防災から芸術まで多岐にわたるその利活用についてご紹介します。  
メッセージ: 「だいち」「だいち2号」とその利用について紹介します。

番号 : 712  
出展者名 : JAXA 宇宙環境利用センター  
タイトル : 「ISS『きぼう』文化・人文社会科学利用パイロットミッション」  
概要 : JAXA では、宇宙環境の追究や宇宙活動が文化/人文社会科学的にどのような意義を持つのか、長い間議論を重ね、「きぼう」日本実験棟による実験として宇宙・微小重力といった環境での芸術活動の検証を目的に文化・人文社会科学利用パイロットミッションを募集、実施しました。今回はその内容をご紹介します。  
メッセージ: 日本初の独特な取り組みについてご紹介します。

番号 : 704  
出展者名 : 株式会社ブロードバンドタワー  
タイトル : 「転貸写真 SNS サービス『Open Astronomy』/3D 地図 Web-API サービス『GEO-SIM』」  
概要 : ブロードバンドタワーが、「宇宙」を活用するサービスとして提供している、「Open Astronomy」と「GEO-SIM」を展示します。当日は「GEO-SIM」のサンプルデモも予定しております。  
メッセージ: Open Astronomy のユーザになって一緒に宇宙を楽しみましょう。

番号 : 706  
出展者名 : 京都大学大学院理学研究科附属天文台/京都大学総合博物館/NPO 法人花山星空ネットワーク「京都千年天文学街道プロジェクト」  
タイトル : 「京都大学 4次元デジタル宇宙シアター」  
概要 : 最新宇宙の姿を3D映像で体感できる、花山天文台及び総合博物館の「京都大学4次元デジタル宇宙シアター」の概要と、同システムを活用した学生向け科学コミュニケーション教育及び一般向け天文学教育普及活動の実績を紹介します。  
メッセージ: 3D映像による天文学教育普及活動の有用性と実績を紹介します

番号 : 713

出展者名 : NPO 法人花山星空ネットワーク「京都千年天文学街道プロジェクト」/京都大学大学院理学研究科附属天文台

タイトル : 京都千年天文学街道ツアー

概要 : 天文関連史跡を巡り、京都平安期の天文観測と最新天文学の千年の時を超えた繋がりを学ぶ「京都千年天文学街道ツアー」を紹介します。「天文博士」安倍晴明、藤原定家著「明月記」、日本人独自初暦作成者・渋川春海に触れるコースなどがあります。

メッセージ: 京都の天文史跡散策「京都千年天文学街道ツアー」を紹介します。

番号 : 707

出展者名 : 関西宇宙イニシアティブ (KaSpI)

タイトル : 「NPO 法人『関西宇宙イニシアティブ (KaSpI)』」

概要 : 「関西宇宙イニシアティブ」は、「まいど1号」の開発を契機に2008年3月に設立されました。宇宙科学技術専門家によるフォーラムや市民へのセミナーを定期的に開催、市民向け宇宙展示企画や、親子サマーキャンプにも取り組んでいます。

メッセージ: 大学、企業、市民の連携で、関西に小型衛星開発の拠点を！

番号 : 709

出展者名 : 大阪府立大学 小型宇宙機システム研究センター 衛星プロジェクト

タイトル : 大阪府立大学 小型宇宙機システム研究センター 衛星プロジェクト  
OPUSAT-KIT

概要 : 大阪府立大学小型宇宙機システム研究センターでは、学生中心での衛星開発を行っており、今年2月末に超小型衛星「OPUSAT」の打ち上げに成功した。そのOPUSATを汎用的なキットとして製作し、ユーザに提供する予定である。

メッセージ: 学生中心で活動しているので、技術交流を楽しみたいと思います。

番号 : 710

出展者名 : 和歌山大学観光学部 科学文化ゼミナール

タイトル : 宇宙旅行搭乗予定者の意識調査

概要 : 私たちは、宇宙旅行搭乗予定者の方の意識調査をしてきました。その研究から見えてきた、搭乗予定者の特徴や結果を発表します。また、民間宇宙旅行に関する質問にもお答えします。

メッセージ: もうすぐ始まる宇宙旅行。みなさんが宇宙に行く日も近いです！

番号 : 711

出展者名 : 星のソムリエ京都

タイトル : 星のソムリエ京都の活動について

概要 : 星のソムリエ京都とは、山形大学がはじめた星空案内人（星のソムリエ）の資格認定講座の卒業生を中心に組織された団体で、京都における講座の実施・運営、観望会などの実施を行っている。本発表ではその活動について報告するものであり、特に今年度の活動について紹介する。

メッセージ : 星のソムリエ京都の活動をぜひ知ってください。

